

# 令和6年度放課後活動指導者研修①実施報告

実施日：令和6年6月5日

◎ 当研修は、放課後活動指導者として、地域で行う子どもたちの多様な体験活動を充実させるための知識・技能の習得を図るための研修です。第1回は総合教育センターにおいて研修を行い、111名の方が御参加くださいました。

## ○ 講話「地域社会の中で子どもたちを心豊かに育むためには」 宇都宮共和大学 教授 陣内 雄次 氏

今回の講話では、放課後子ども教室の意義や目的についてお話しいただきました。放課後子ども教室は、子どもの人間形成が図られる場であり、「開かれた家庭」が形成される契機として捉えることができると話されました。また、子どもたちへは相互尊敬、相互信頼という考えのもと、褒める言葉がけよりも勇気づける言葉がけのほうがよいという考えも提示されました。放課後子ども教室指導者にとって、必要な知識・考え方が示され、受講者が今後の活動について改めて考える時間となりました。



## ○ 事例発表「ぼぷらっ子チャレンジ教室の取組について」

足利市立山前小学校放課後子ども教室 統括コーディネーター 高畑 真朱美 氏

足利市で放課後子ども教室を行っている「ぼぷらっ子チャレンジ教室」の取組について発表をしていただきました。地域の中学生がボランティアとして参加し、子どもたちへの学習支援をしているそうです。問題が起きたら、子どもたちと相談して解決するなど、運営する上で気を付けていることについても話されました。多くの子どもたちと関わり合えるというやりがいあげられ、これからも子どもたちにとって安心・安全な居場所となるよう放課後子ども教室を運営していきたいという思いが伝わる発表でした。

高畑 真朱美 氏



## ○ 協議「放課後子ども教室を実施する上で心掛けること」

受講者はグループに分かれて協議を行いました。まず、自己紹介を行い、講話や事例発表について感想の共有を行いました。その後、放課後子ども教室を実施する上で心掛けたことや、今後の放課後子ども教室で実施してみたいことについて考えを述べ合いました。受講者は協議から、他の教室での活動を知ると共に、放課後活動指導者として、子どもたちにどう接していけばよいのか改めて考えることができました。



## ★ 受講者の声 ★

- ・ 子どもたちには、褒めるということよりも勇気づけることがとても大切だと改めて学びました。
- ・ 放課後子ども教室の意義や目的が明確に理解できました。相互尊敬と相互信頼をもって、子どもに接したいです。
- ・ 中学生との活動を、うちの地域でも生かせたらと思いました。子どもたちに考えさせることが素晴らしいです。今後生かしていきたいと思います。
- ・ 大人は見守り、子どもたちが自分で考えて行動できるような環境をつくってあげることも大切だなと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: [skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp](mailto:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp)